

科目名	地域・在宅看護概論 I	単位	1	時間	15	講師名	教員
開講時期	1年次 1学期						
科目の目的と概要	地域で生活する人々と暮らしを理解するとともに生活環境が健康に与える影響と様々な場での看護の基礎を学ぶ 地域包括ケアシステムの意義と概念を理解し、地域で暮らすあらゆる健康課題やライフステージの人々を知り、地域での自助・互助・共助・公助の実際を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 在宅看護の歴史と将来の展望と課題を学び、生活に身近な看護の考え方がわかる 2. 地域で心身の障害や健康課題を持ちながら生きることを考察し表現できる 3. 地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際がわかる 4. 地域での看護の場と看護師の役割について基本的な考え方がわかる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 在宅看護の歴史、在宅看護の展望と課題、コミュニティとは 地域で生きるための自助・互助・共助・公助					2	講義
2	地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際 ②「地域で生きる・老いる・病気になる・死ぬ」ときに必要な地域の保健・医療・福祉の情報探索、研修(姫路市総合福祉会館)					2	演習
3	地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際 ①「地域で生きる・老いる・病気になる・死ぬ」ときに必要な地域の保健・医療・福祉の情報検索・グループワーク、研修(総合福祉会館)の振り返り					2	講義 演習
4	地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際 ②「地域で生きる・老いる・病気になる・死ぬ」ときに必要な地域の保健・医療・福祉の情報検索・グループワーク					2	演習
5	地域における高齢者の活動の場の実際 「自主・自立・共働・共助」に基づく高齢者の就業による社会参加、生きがい(シルバー人材センター)					2	演習
6	地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際 ①「地域で生きる・老いる・病気になる・死ぬ」ときに必要な地域の保健・医療・福祉の情報検索・グループワーク、シルバー人材センターの振り返り					2	演習
7	地域で生きるための自助・互助・共助・公助の実際 ③「地域で生きる・老いる・病気になる・死ぬ」ときに必要な地域の保健・医療・福祉の発表・まとめ					2	講義 演習
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(40点)課題レポート(60点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	看護学概論、社会学、社会福祉、健康支援論、保健医療論、公衆衛生学、成人看護学概論、老年看護学概論、小児看護学概論、精神看護学概論、地域・在宅看護論						

科目名	地域・在宅看護概論Ⅱ	単位	1	時間	30	講師名	院外講師
開講時期	2年次 1学期						
科目の目的と概要	地域・在宅看護の概念を理解し、在宅看護における看護師の役割を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 在宅看護の対象である療養者とその家族の特徴を説明できる 2. 在宅療養を支えるシステムと看護師の役割について基本的な考え方がわかる 3. 在宅療養に関連する社会制度について説明できる 4. 退院支援と退院調整が説明できる 5. 在宅看護における看護過程について基本的な考え方がわかる 6. 在宅看護における権利保障について説明できる 7. 災害時における訪問看護師の役割がわかる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 「生活していくとはどういうことか」 自己ワーク・グループワーク発表					2	講義
2	地域看護と在宅看護 在宅看護の目指すもの 生活とは					2	講義
3	地域看護・在宅ケア・訪問看護とは 社会資源と在宅					2	講義
4	介護保険制度など法令					2	講義
5	訪問看護制度について					2	講義
6	ケアマネジメントと社会資源 地域包括支援センター					2	講義
7	地域包括ケアシステム					2	講義
8	訪問看護サービス・対象者の特徴					2	講義
9	家族のアセスメント・家族をみる視点					2	講義
10	退院支援・退院調整					2	講義
11	退院時入院時の訪問看護師の役割 医療保険制度等					2	講義
12	在宅の看護過程の特徴 ICFの概念 在宅の看護過程の展開とその視点・情報収集 在宅のリスク管理等					2	講義
13	在宅看護における権利保障					2	講義
14	災害時の訪問看護師の役割					2	講義
15	全体のまとめ					1	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	看護学概論、社会学、社会福祉、健康支援論、保健医療論、公衆衛生学、老年看護学概論、地域・在宅看護論						

科目名	地域・在宅看護援助論 I	単位	1	時間	15	講師名	教員
開講時期	1年次 2学期						
科目の目的と概要	地域で提供する看護を理解し、基礎的な日常生活援助技術を身につける 地域で日常生活行動に援助を必要とする療養者の事例を通して、療養者や家族が安心して生活するための指導や管理方法の実際を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP3, DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 訪問技術の基本的な方法を習得できる 2. 訪問看護におけるフィジカルアセスメントと感染予防の基本的な方法を習得できる 3. 地域で生活する療養者に対する日常生活援助(清潔・食事・排泄・移動)の基本的技術の方法と考え方がわかる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 訪問技術(面接技術 コミュニケーション マナーなど)					2	講義 演習
2	訪問時のマナー ロールプレイ演習					2	演習
3	訪問看護におけるフィジカルアセスメント・感染予防					2	講義 演習
4	清潔に関する技術(ケリーパッドの作成) 食生活・嚥下に関する技術					2	講義 演習
5	洗髪(在宅簡易セット+オムツ使用)演習					2	演習
6	排泄に関する技術					2	講義 演習
7	移動 移動・移乗に伴う各動作への介助					2	講義 演習
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	臨床栄養学・病態アセスメント演習・公衆衛生学 対象理解演習・生命維持援助基礎技術・日常生活援助基礎技術 老年看護援助論、地域・在宅看護論						

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ	単位	1	時間	15	講師名	院外講師
開講時期	2年次 1学期						
科目の目的と概要	地域で提供する看護を理解し、基礎的な医療処置技術を身につける 地域で医療処置を必要とする療養者の事例を通して、療養者や家族が安心して生活するための指導や管理方法の実際を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP3, DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 訪問技術の基本的な方法と考え方がわかる 2. 地域で生活する療養者に対する医療処置(HEN・PEG・HPN・HOT・HMV・膀胱留置カテーテル・薬物療法)の基本的技術の方法と考え方がわかる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 在宅経管栄養・経腸栄養法、胃瘻					2	講義
2	胃瘻ケア、膀胱留置カテーテル・自己導尿					2	講義 演習
3	在宅における薬物療法(服薬管理・自己注射)					2	講義
4	在宅中心静脈栄養法					2	演習
5	在宅酸素療法(HOT NIPPV)					2	講義
6	在宅酸素療法(HOT NIPPV)の実際 *体験学習					2	演習
7	在宅人工呼吸器療法					2	演習
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	病態アセスメント演習、 成人看護方法論Ⅰ・老年看護方法論Ⅰ・地域・在宅看護論						

科目名	地域・在宅看護方法論 I	単位	1	時間	30	講師名	院内・院外講師(看護師)教員
開講時期	2年次 2学期						
科目の目的と概要	地域で療養する人とその家族の健康上の課題と生活上の課題を理解し、療養者を支援するために地域で提供する看護について、慢性期の事例を通して学ぶ 健康レベルに応じた療養の場の移行に伴う看護の継続性を理解し、暮らしの場で多職種と協働する中での看護の役割を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP3, DP4, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 地域における多職種連携と退院支援を説明できる 2. 地域で生活する療養者に対するケアマネジメントについて考察し表現できる 3. ICFモデルを活用して療養者と家族の看護過程を考察し表現できる 4. 健康障害をもち、地域で生活する療養者と家族の看護を考察し表現できる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 療養の場の移行に伴う看護(事例紹介 考えられる療養の場所) 医療機関と入退院時の連携 施設との入退所時の連携					2	講義 演習
2	地域包括ケアシステムにおける多職種連携と退院支援の実際 行政と連携 地域包括支援センターとの連携 介護サービス事業所との連携 住民との連携					2	講義 演習
3	在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメントの概念 居宅介護サービスの計画立案					2	講義 演習
4	ケースマネジメント/ケアマネジメントの実際 居宅介護サービスの計画発表・まとめ					2	講義 演習
5	ICFモデルを用いた在宅看護過程展開の考え方					2	演習
6	事例紹介 療養者と家族の健康や生活状況について情報整理					2	演習
7	療養者と家族の健康や生活状況についてアセスメント					2	演習
8	療養者と家族の健康や生活状況から必要な看護計画立案					2	講義 演習
9	療養者と家族の健康や生活状況から必要な看護計画立案・評価の視点					2	演習
10	ALSの療養者・家族に対する在宅看護の事例展開 患者の特徴 排泄、食事、経管栄養、清潔、移動、姿勢維持					2	講義
11	ALSの療養者・家族に対する在宅看護の事例展開 コミュニケーション、意思伝達装置、呼吸、緩和ケア 意志決定支援、喪失類似体験					2	講義
12	ALSの療養者・家族に対する在宅看護の事例展開 人工呼吸器を装着する療養者・家族の看護					2	講義
13	ALSの療養者・家族に対する在宅看護の事例展開 人工呼吸器装着中の療養者・家族の看護の実際 (気管内吸引、コミュニケーション)					3	講義 演習
14	ALSの療養者・家族に対する在宅看護の事例展開 事例用いて「生きるを支える看護」 グループワーク					2	演習
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	病態生理学Ⅱ・病態生理学Ⅲ、成人看護学概論、成人看護学方法論、老年看護学概論、老年看護学方法論、地域・在宅看護論						

科目名	地域・在宅看護方法論Ⅱ	単位	1	時間	15	講師名	院外講師
開講時期	2年次 1学期						
科目の目的と概要	地域で療養する人とその家族の健康上の課題と生活上の課題を理解し、在宅療養者を支援するために必要な看護について、終末期の事例を通して学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1, DP2, DP3, DP4, DP5の達成に寄与						
到達目標	1. 在宅におけるエンドオブライフケアの考え方を説明できる 2. エンドオブライフケアにおける症状を緩和する方法を説明できる 3. エンドオブライフケアにおける多職種連携と意思決定支援の考え方がわかる 4. エンドオブライフケアにおける家族への看護を説明できる 5. 地域で最期を生きる療養者と家族の事例を通して看護師の役割を考察し表現できる						
回数	教育内容	時間	方法				
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 在宅におけるエンドオブライフケア 意義 特徴 対象者(がん療養者・家族、非がん療養者・家族)	2	講義				
2	在宅におけるエンドオブライフケア 在宅移行期の看護 エンドオブライフケアを支える在宅ケアシステム 家族ケア	2	講義				
3	在宅におけるエンドオブライフケア 在宅終末期前期の看護 症状マネジメント(疼痛、倦怠感などの不快症状)	2	講義				
4	在宅におけるエンドオブライフケア 在宅終末期中期の看護 症状緩和ケア 予期悲嘆	2	講義				
5	在宅におけるエンドオブライフケア 在宅終末期後期の看護 在宅医との連携 意思決定支援	2	講義				
6	在宅における看取りの技術 家族への死の準備教育 死亡確認	2	講義				
7	在宅におけるグリーフケア 方法と実際	2	講義				
8	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論(医学書院)						
関連科目	保健医療論 臨床看護基礎技術演習、成人臨床看護総論、成人看護方法論、老年看護学方法論 地域・在宅看護論						